

令和5年度「園芸(コースII)」シラバス	単位数	2単位
	学科・学年・学級	園芸工学科 第2学年 2組

1 学習の目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業の各分野で活用する基礎的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

2 学習到達目標等

学習の到達目標	①園芸作物の育成と生産活用について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけること。 ②園芸作物の育成と生産活用に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決すること。 ③園芸作物の育成と生産活用に特質を理解し、主体的かつ協働的に取り組むこと。
使用教科書・副教材等	「野菜」実教出版

3 履修に際してのアドバイス・注意事項

- ・園芸について、座学、実習を通して知識、技術を習得することになります。基本的には圃場での実習になりますが、教室での座学による知識の習得目指します。
- ・授業では、園芸作物の知識、技術を習得するのは当然ですが、どのように園芸作物が社会で利用されているのか、なぜ社会で必要とされているのかについて学びます。履修する皆さんは自分から積極的に学ぶことはもちろん、他者の意見も取り入れながら視野を広げてほしいと思います。
- ・評価に関して授業でのワークシート、レポート、定期テスト、実習へ取り組む態度なども評価へ反映されます。
- ・コースIと違う点は、履修時間となります。生物工学コースが履修対象となり履修時間が少なくなりますが、園芸作物について学ぶことができます。

4 科目全体の観点別評価の基準及び評価の方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評価配分の合計
趣旨	園芸作物の育成と生産活用について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身につけている。	園芸作物の育成と生産活用に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身につけている。	園芸作物の育成と生産活用について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む態度を身につけている。	